

火災から台風・地震などの自然災害まで、
住まいと家財をしっかり保障します。

阪神・淡路大震災
から20年。
未曾有の災害を経て…
全労済の住まいの
保障が生まれ
変わりました。

全労済の 住みいる共済

(新)火災共済・(新)自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

自然災害にも備える！

戸建て(木造構造)
加入プラン例

月払掛金 **1,550円** 年払掛金 **18,000円**

新火災共済+新自然災害共済(標準タイプ)に100口加入

主な保障

火災	最高	1,000万円
風水害	最高	800万円
地震	最高	200万円

建物構造によっては
掛金が引き下げに！

戸建て(鉄骨・耐火構造)
加入プラン例

月払掛金 **950円** 年払掛金 **11,000円**

新火災共済+新自然災害共済(標準タイプ)に100口加入

主な保障

火災	最高	1,000万円
風水害	最高	800万円
地震	最高	200万円

掛金がお手頃！

マンション構造
加入プラン例

月払掛金 **750円** 年払掛金 **8,000円**

新火災共済+新自然災害共済(標準タイプ)に100口加入
※風水害リスクの少ないマンション構造向けに、
風水害保障を除いたプランです。

主な保障

火災	最高	1,000万円
地震	最高	200万円

※建物構造について詳しくは全労済にお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせは最寄りの全労済まで

●ぐりんぼう神戸 tel.078-371-6031 ●ぐりんぼう尼崎 tel.06-4868-8710 ●ぐりんぼう姫路 tel.079-226-7031

〒650-0027 神戸市中央区中町通4-1-1 〒660-0892 尼崎市東難波町5-17-23 オ一住建尼崎ビル1F 〒670-0012 姫路市本町127 姫路大手前ビル1F

営業時間 平日 9:00~17:00、土曜日(窓口営業のみ) 9:00~16:00(神戸は第1、3のみ、尼崎・姫路は第2、4のみ) 休業日 日曜日・祝日・年末年始、神戸は第2、4、5土曜日、尼崎・姫路は第1、3、5土曜日

※ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「パンフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

■出資金について(新しく組合員になる方へ)

※全労済は消費生活協同組合法に基づき、非営利で共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただければ、どの都道府県生活協同組合の組合員となることも、各種共済に加入できます。新しく組合員となられる方には、生活協同組合運営のために出資(1,000円以上)をお願いしています(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入する共済の出資金払込方法に応じて下記のとおりお支払いしています。※なお、すべての契約を解約された場合、または契約が失効となり、効力を失った場合等で、引き続き事業をご利用されない場合には、速やかに最寄りの全労済へご連絡いただき、組合員出資金返戻請求の手続きを行ってください。また、3年以上事業を利用されず、住所変更の手続きをしない場合、返還の予告があったものとみなし、返還の手続きをさせていただきます(※詳しくは、各都道府県の全労済にお問い合わせください)。

◇掛金の払込方法一月払いの場合…1,200円(毎月100円×12ヵ月) 年払いの場合1,000円(1回のみ)

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこる充分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これからの引き続き健全な経営に努めていくとともに、情報開示を積極的に行っていきます。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりした皆さまに関する情報について厳密な管理体制のもとに正確性・機密性・安全性の確保に努めています(※詳しくは、各都道府県の全労済にお問い合わせください)。

保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済兵庫県本部
(兵庫労働共済生活協同組合)



全労済兵庫県本部
3014B028.
15.04.DL

阪神・淡路大震災20年 住みいる共済発売記念 防災・減災 標語コンテスト 受賞作品集

つたえよう、ぼくらの言葉 とどけよう、次世代へ

2015年1月17日に阪神・淡路大震災から20年を迎えました。

未曾有の被害をもたらした震災からこの20年間で、
私たちはさまざまな課題に直面し、そして県民の力で復興を遂げてきました。

その記憶を風化させるのではなく、現在そして未来の子供たち、
県民すべての防災・減災への「学び」に変えていくことが大切です。

そこで全労済兵庫県本部では、広く県民の皆さまから「防災・減災」につながる標語を募集し、
たくさんのご応募をいただきました。

受賞作品を皆さまへご紹介させていただきます。

今後とも全労済兵庫県本部では、阪神・淡路大震災の体験を風化させることなく、
災害に備える重要性を伝え、広めていきます。



主 催

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済兵庫県本部
(兵庫労働共済生活協同組合)

共 催



神戸新聞社

住みいる共済
阪神・淡路大震災20年 1.17を忘れない

阪神・淡路大震災20年 住まいの共済発売記念 防災・減災 標語コンテスト

つたえよう、ぼくらの言葉 とどけよう、次世代へ

平成27年4月3日(金)最終審査会が実施され、
全応募1051作品の中から、入賞作品が決定しました。

最終審査会 審査員

- 兵庫県 副防災監兼企画県民部防災企画局長 ——— 大久保 博章
- 神戸市 危機管理室 室長 ——— 長岡 賢二
- 人と防災未来センター センター長 ——— 河田 恵昭
- 兵庫県立松陽高等学校 教諭 ——— 諏訪 清二

- 神戸新聞社 執行役員 論説委員長 ——— 桜間 裕章
- 全労済兵庫県本部 本部長 ——— 酒井 行雄
- 全労済兵庫県本部 専務執行役員 ——— 菊池 則雄

(敬称略)



受賞者の皆さん



表彰の様子



挨拶をする酒井本部長



講評を行う菊池専務執行役員

最優秀賞

各部門1作品

小学生以下部門

ふだんから、家ぞくで話そう「もしも」のこと

芦屋市 岡本 倫明

中・高校生部門

備えよう 未来の家族と 自分のために

神戸市 中山 らら

大学生・一般部門

この街で もらった教訓 受け継ぐ使命

神戸市 平野 浩子

(敬称略)

優秀賞

各部門5作品

小学生以下部門

おおつなみ たかくにのぼって おおあんしん

浜守 渚

今決めよう 家族と会う場所 逃げる場所

高見 菜月

すぐにげよう かならずあとで あえるから

安井 理央

そなえよう つぎくる災害 明日かも

飛谷 悠仁

あわてずに いのちをまもる ヘルメット

榮田 智也

中・高校生部門

防災は 人と自然の 知恵比べ

千田 優美

何事も 備えあつての 明日がある

岡田 希美

震災は ホンマにおきてん! 伝えなアカン

田野 ほのか

大地震 いつもの訓練 生きてくる

金 直人

語り継ぐ 多くを学んだ あの日から

千田 優美

大学生・一般部門

語り続けていこう 次の世代の 人たちへ

中田 智恵

減災は 一人ひとりの 備えから

石田 昭次

怠らない 備えと訓練 危機管理

森垣 久美子

大震災 1人の気付きで 小震災

橋本 大徳

我が家でも 月に一度の 防災会議

大江 美典

(敬称略・順不同)

佳作

全部門から50作品

あいさつは じしんのそなえの だいいっぽ
地震予知、できないからこそ防災を
つたえよう 地震の怖さ ぼくらから
怖がぐいではうとい「かおれない」で行動しよう
忘れない。あの震災を 教訓に。
こどもでも ゆうきをだせば まもれるいのち
備えるだけで 未来が変わる
忘れずに そなえておこう 震災へ
さいがいは、なかがだいじ たすけあう
家族もね 大切だけど さき自分
じゅんぴしよう ひなんリュックは 近くにね
守りたい 子供の笑顔 僕の手で
生きるため ちいきのきずなを ふかめよう
自分の命は 自分で 守ろう
大地震 備える 意識に 命あり
協力し みんなで行こう 避難場所
自分だけ 自分の命を守るのは
大地震 常に備える 非常食
経験のヤンを次の走者へつなげて行こう安心を
防災グッズ そのうちではなく 今すぐに
地震にも 負けない絆は 近所の輪
忘れずに 風化させずに 震災を
備えよう 使わなければ それでいい
伝えよう 守れる命 防災で
大地震 忘れず つなごう 未来へと
人とのつながり 何より強い 命綱
伝えよう 涙と希望を「これから」に
知っているだけでは防げない、実践、実行してそなえよう。
今日の減災、明日の安心
子供もおとなも皆同じ常に声かけ 笑顔で気遣い
備えよう 地震の教訓 心がけ
食料、飲料、衣料品 備えて安心7日分
日ごろから 大丈夫かと 自問自答
「想定外」 備えた事は「想定内」
災害を 減らす 備品と 冷静さ
集まろう 未来を守る 防災訓練
再確認 防災グッズと避難場所
忘れない。あの時の怖さと、人のやさしさを。
災害が 来る来ないより まず 備え
ふだんから あの日の教訓 子や孫に
乗りこえた 神戸の町が 希望の灯
忘れるな あの日の記憶 いつまでも
あの日の 少しの注意で 私は生きている
明日へ備え 心を束ね 安心をつなぐ。
防災と減災は自然と仲良く暮らす知恵
避難経路 日ごろの確認 忘れずに
もうようそう! 自然の力 想定外
忘れない あの日見た街 あの想い
過去には“祈り”を、未来には“備え”を。
安全な 今こそ確認 ハザードマップ

(敬称略・順不同)